

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	商業	コード	作成者	役職	商工観光課長
		04-02-02		氏名	中島 和久
			電話	64-1832	
			このシート作成に要した時間	3.0 時間	

この施策の アピール ポイント	地域に密着したイベントを開催することで、地域の活性化を図っていること。
-----------------------	-------------------------------------

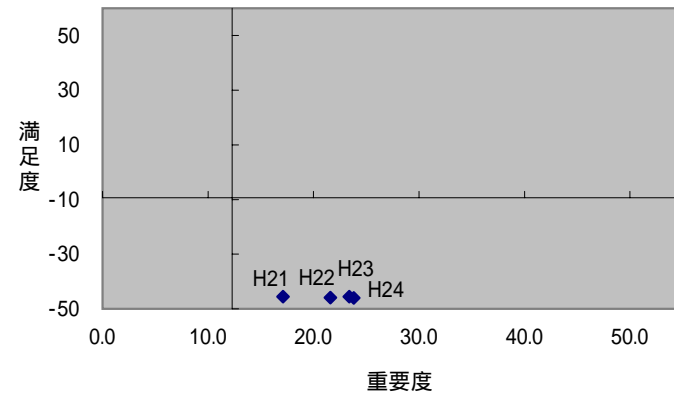
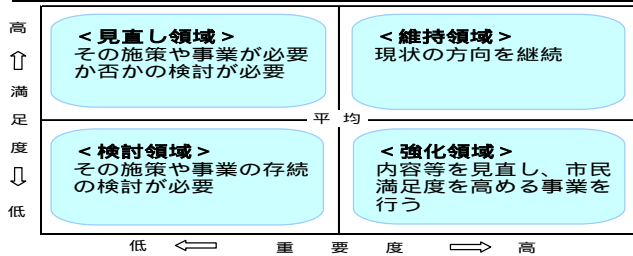
この施策の 平成23年度の 施政方針	商業についてであります。備前商工会議所、備前東商工会、地元商店街等との連携を密にイベントの開催や空き店舗の利用など地域の活性化に向けての支援を行ってまいります。また、国県補助金の活用等により、可能な限り商店街の活性化、雇用の拡大を図ってまいります。
--------------------------	--

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	基本施策(中項目)	起業と創造が支えるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市内商店街、商業者グループ等が活力を養うことは、地域住民が集い賑わいの町となる。また、東備地域の拠点都市としての発展を図り、市民生活を豊かにしていくことを目的とする。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	顧客ニーズの多様化や後継者不足、さらには郊外型大型店の進出により、商業は停滞傾向となっている。特に、消費者の自家用車利用が定着したため、駐車場不足に欠ける従来型の商店街は、来客頻度が低下している。このため、商店街の衰退が著しく、閉店や空き店舗が目立ち地域社会の形成にも悪影響を及ぼしている。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	商店の体質強化 資金・就労支援 ・ ・ ・ ・	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H21	H22	H23	H24
重要度(%)	17.1	21.6	23.4	23.8
満足度(%)	- 45.5	- 45.9	- 45.6	- 46.0



調査結果に対するコメント、市民の反応等	市の中心市街地である片上商店街については、アルファビゼンの閉鎖依頼衰退が著しく、閉店や空き店舗が目立つ状態となっている。特に、吉永地域、三石地域では、商業施設が少ないことから、商業施設の充実を求める意見が多く、市内全域においても、商業の活性化を求める声が多い。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H21	H22	H23			H24	H28
成果指標 地域振興活性化事業イベント開催による来場者数	目標	千人	124	74	124	地域振興活性化事業イベント開催による来場者数	H24	85
	実績	千人	107	85	92		H28	74
	達成率	%	86.3	114.9	74.2		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 片上商店街営業店舗数	目標	店	48	48	48	片上商店街の営業店舗数(48店舗：H17基準)	H24	48
	実績	店	34	33	31		H28	48
	達成率	%	70.8	68.8	64.6		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 商工会議所及び商工会1人当たりの補助金額	目標	円	14,000	14,000	14,000	備前商工会議所及び備前東商工会会員1人当たりの補助金の額	H24	14,000
	実績	円	21,608	14,127	14,152		H28	14,000
	達成率	%	154.3	100.9	101.1		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標	目標						H24	
	実績						H28	
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
備前商工会議所	商工会議所が行う事業等との連携	商工会議所との情報交換、協力体制の確立
備前東商工会	東商工会が行う事業等との連携	東商工会との情報交換、協力体制の確立
商工観光課	企業誘致奨励金事業	雇用の拡大、企業進出への支援

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	地域活性化のためのイベントや商業団体の事業費に対する補助であり、成果指標の地域振興活性化事業であるイベント開催による来場者数は概ね妥当である。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	地域振興活性化のためのイベントや商工会議所、商工会の事業に対する支援としての事業構成はほぼ適正である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	厳しい経済不況の中で、イベント補助を行っており、地域の活性化や商業振興の一助となっている。	
進行年度(H24年度)の取組内容(課題解決状況)	商工会議所、商工会等との連携したイベント開催などを通じて商店街の活性化を図る。イベントの実施については、各実行委員会で十分協議し、充実したイベントに努める。		
翌年度(H25年度)の取組目標	商工会議所、商工会等との連携を密にし、イベント開催等で地域の活性化を支援する。		
二次評価者コメント	商工会議所、商工会との連携により支援を進めているが、大型店の進出により地元商店は厳しい状況が続いている。地域特性を活かした創意工夫が不可欠であり、地域振興のための努力をしてください。		基本施策への貢献度
役職 産業部長 氏名 高橋昌弘			3 中立

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等 (単位：千円, 人)									施策への 貢献度		
			平成21年度			平成22年度			平成23年度				平成24年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数		当初予算	
1	商業振興事業	商業振興対策補助事業	単市	121	228	0.03	111	0	0.00	114	107	0.01	112	
2	地域振興活性化事業	備前まつり事業	単市	2,100	3,747	0.52	2,100	2,651	0.30	2,100	2,787	0.31	2,100	
		ひなせ港祭り事業	単市	2,100	2,779	0.35	2,100	3,150	0.39	2,100	2,459	0.32	2,100	
		まほろばウォーク事業	単市	0	52	0.01								* H21終了
		サマーフェスティバル補助事業	単市	700	23	0.00	700	0	0.00	700	0	0.00	700	
		地域まつり補助事業	単市	378	23	0.06	252	0	0.00	252	79	0.01	252	
		シーファンタジーイルミネーション業務	単市	47	99	0.01	46	100	0.01	53	0	0.00	53	
3	商業団体支援事業	ぼんぼり取付業務	単市	10	99	0.01	8	100	0.01	10	101	0.01	10	
		備前商工会議所補助事業	単市	19,776	493	0.06	8,800	0	0.00	8,800	186	0.02	9,300	
		備前商工会館管理運営事業	単市	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	
		備前東商工会補助事業	単市	12,800	180	0.02	12,800	0	0.00	12,400	79	0.01	12,400	
		地域産業資源活用事業	単市	0	233	0.03	0	0	0.00	0	79	0.01	0	
		商工会議所法関係事務	法定	0	32	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	* 法定事務
4	資金・就労支援事業	就労支援・緊急雇用対策事業	補助	1,951	1,186	0.12	14,011	532	0.05	14,011	186	0.02	0	
			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度		
この施策に費やした資源 (単位：千円, 人)			39,983	9,174	1.10	40,928	6,533	0.76	40,540	6,063	0.72	27,027		